

平成 18 年度作井技術委員会 (第 1 回) 議事録	
開催日時	平成 18 年 9 月 15 日(金) 15:00 ~ 16:15
開催場所	石油資源開発(株) 24F 2405 会議室
出席者	<p>委員長: 吉田恒夫(石油資源開発)</p> <p>今里昌幸(石油資源開発)、市川祐一郎(JDC)、澤村啓(JDC)、富岡正(帝国石油)、長縄成実(東京大学)、福嶋直哉(出光 O&G 開発) 以上 運営幹事</p> <p>田崎誠司(帝国石油)、古谷昭人(JDC) 以上 分科会座長</p> <p>遠藤聡(ハリバートン)、木崎有康(地熱技術開発)、澤口功(住友金属テクノロジー)、島田邦明(帝石削井工業)、鈴木敏雄(NKK シームレス鋼管)、鈴木正芳(物理計測コンサルタント)、須藤祐子(東北大学)、大門勝悦(SKE)、田村満夫(ジャパン石油開発)、羽倉淳一(シュルンベルジェ)、平島智拓(アブダビ石油)、正村克身(JFE スチール) 以上 作井技術委員</p> <p>事務局: 筑井秀昌(石油資源開発) 以上 22 名</p>
議題 1	<p>委員長挨拶、委員の自己紹介 添付資料 1</p> <p>委員長の挨拶にて、「在任中にハードコピーの成果物を残したい」とのコメントあり。</p> <p>委員長交代(帝国石油:富岡→石油資源開発:吉田)、委員交代(ハリバートン:橋本→遠藤、エムシー・エクスプロレーション:志賀→垣内、住友金属工業:津村→堀内、JFE スチール:片桐→正村)、新規委員(東北大学:須藤、石油資源開発:脇嶋)、事務局交代(帝国石油:玉川→石油資源開発:筑井 - 新規委員)</p> <p>石油技術協会個人情報保護方針に基づき、作井技術委員会としての個人情報管理・利用(名簿の取り扱い)について事務局より説明し、了承を得た。</p>
議題 2	<p>平成 18 年度作井技術委員会要綱(案) 添付資料 2</p> <p>基本的に平成 17 年度要綱を踏襲する。若干の変更箇所の説明後、承認された。主な変更点は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作井マニュアル分科会は大水深掘削技術分科会に一時的に統合されているので記載しない(但し、将来、必要となれば再度独立させる)。
議題 3	<p>各分科会活動報告</p> <p>大水深掘削技術分科会: 古谷座長 添付資料 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方に関して、小さなワーキンググループを組織し個別の項目を掘り下げていくことが示唆された。 <p>ホームページ分科会: 田崎座長 添付資料 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座長より、「JAPT 作井技術委員会 HP 掲示板に積極的に書き込みをして欲しい。」との呼び掛けあり。 <p>新規分科会の立ち上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい分科会を立ち上げることも視野に入れ、過去の分科会活動ならびに

議題 4	<p>成果物を整理することとなった。</p> <p>8/29 第 3 回理事会報告</p> <p>委員長より、審議・承認事項、報告事項についての報告あり。</p>
議題 5	<p>平成 19 年度春季講演会シンポジウムのテーマについて 添付資料 5</p> <p>10 月末までにメールにて皆からの意見を募り、11 月の幹事会にて候補を絞る予定。</p>
議題 6	<p>辞書サイト「Weblio」への対応について 添付資料 6</p> <p>「Weblio」の運営会社であるウェブリオ(株)よりJAPT事務局経由でJAPTのHP上の「掘削用語集」をコンテンツとして利用したい旨の連絡あり。</p> <p>JOGMEC が石油/天然ガス用語辞典を既に利用許可しており、その経緯を事務局から説明した。</p> <p>結論:作井技術委員会として、土木関係の”掘削”との混同を避けるため、名称を「石油/天然ガス掘削用語集」として提供することに決定した。</p>
議題 7	<p>その他、事務連絡</p>
特別講演会 (16:30~17:35)	<p>演題: 「米国メキシコ湾におけるハリケーンの石油施設への影響」 - エネルギー保険マーケットレポートより -</p> <p>講演者: 三井住友海上火災保険株式会社 北島英二氏</p> <p>聴衆者: 24 名</p>

- 添付資料 1: 平成 18 年度作井技術委員会員名簿(省略)
- 2: 平成 18 年度作井技術委員会要綱(案)
- 3: 大水深掘削技術分科会活動状況報告および今後の計画
- 4: ホームページ分科会活動状況報告
- 5: 今までの作井シンポジウムテーマ 一覧
- 6: 「Weblio」(ウェブリオ)企画概要(抜粋)